

安全・安心な
まちを目指して

瀬戸消防

☎ 消防課 ☎85・0438

瀬戸市消防本部は、昭和26年に自治体消防として発足して以来、消防体制の充実に努め、現在は1署2分署で構成され、126人の職員が市民の生命・身体・財産を守っています。
これからも地域と連携し、市民と共に災害に立ち向かう消防を目指します。

消防長あいさつ

◎瀬戸市消防長 矢野 研一

消防をとりまく状況は、台風などの気象災害はもとより、近年発生が危惧されている南海トラフ巨大地震への対応など、これまで以上に消防行政に対する期待が高まっています。

こうしたなか、安全・安心が実感できるまちづくりのため、消防団、自主防災組織、関係機関と連携を図りながら、災害の対応能力強化と地域防災力の向上に全力を挙げて取り組んでおります。
今後とも全職員が一丸となり市民に信頼される消防を目指してまいりますので、消防行政運営に対するご支援、ご協力をお願いいたします。

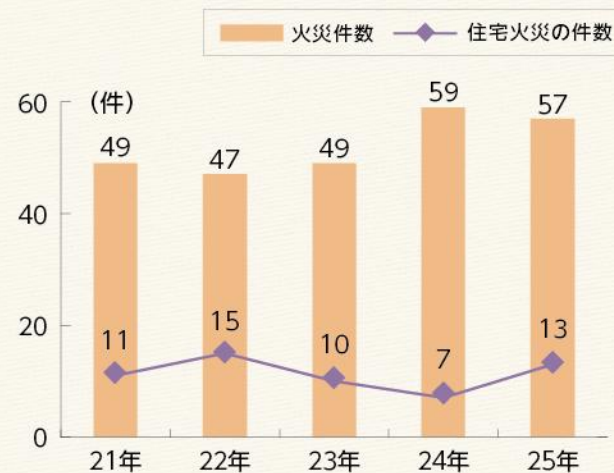


消防組織図



火災・救急の状況

火災件数

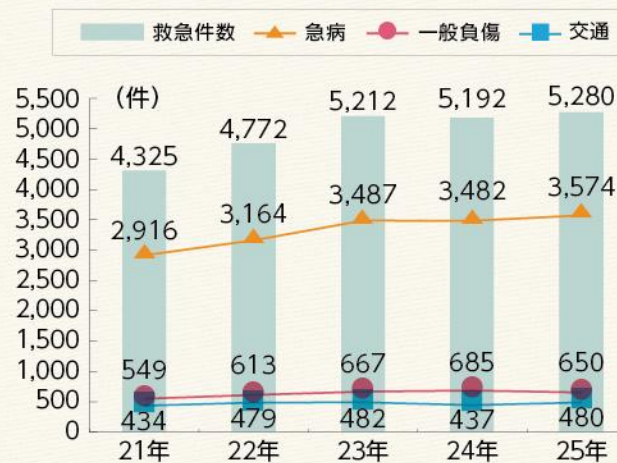


本市では、年間50件前後の火災が発生しています。火災は、尊い生命や貴重な財産を奪ってしまいます。

火災を起こさないためにも、お休み前やお出かけ前に必ず火の元の点検を行い、万が一火災が発生した場合は、慌てず速やかに119番通報をお願いします。



救急件数



近年、救急車の出動件数が増えており、平成25年には過去最高となりました。

緊急性のない救急要請が増えると、救急車が必要な重篤な傷病者宅への到着時間が遅れてしまう恐れがあります。

救急車の適切な利用に、市民の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

瀬戸消防の取り組み

◆災害の対応能力の強化

通信指令業務の共同化

平成24年12月から瀬戸市と尾張旭市で通信指令施設を共同運用し、通信機器の高機能化を図りました。

また、平成26年3月からデジタル無線設備の運用を開始し、通信基盤の強化を実現しました。



最新鋭車両の配備

南分署に空中活動消防車(15m級クレーン)を配備しました。これまでのしご車に比べると車体が小さく小回りが利くため、住宅密集地などで活躍が期待されます。



◆地域防災力の向上

大災予防、防火教育の推進

住宅用火災警報器の設置推進、高齢者世帯へのあんしん訪問調査、各種広報活動などを通して火災予防の推進を図っています。

また、少年・幼年消防クラブなどのクラブ活動を通して幼少期からの防火教育にも力を入れています。



応急手当の普及啓発

家庭や職場などで心肺蘇生法やAEDを使用した応急手当や救命処置を行えるように救命講習を実施し、毎年約3,000人の方に受講していただき、救命率の向上を目指しています。



災害地への派遣

- ◇阪神・淡路大震災 平成7年1月18日(水)~22日(日)、3月2日(木)~4日(土)
- ◇東日本大震災 平成23年3月11日(金)~4月12日(火)
- ◇御嶽山噴火災害 平成26年10月7日(火)・8日(水)



9月27日(土)に発生した御嶽山噴火災害に対し、緊急消防援助隊愛知県大隊の一員として、要救助者の捜索と救出活動のため職員5人を派遣しました。

◎消防署第2グループ消防士長 鈴木 健介



緊急消防援助隊愛知県大隊の一員として御嶽山噴火災害の救助活動を行ってきました。現地は、標高3,000mを超す高地で、高山病の恐れや毒性のある火山性ガスの噴出や再噴火の可能性があり、山頂付近はぬかるんだ火山灰の堆積により一歩を踏み出すことも大変な状況でした。

山頂における活動時間を増やすため、自衛隊と連携したヘリコプターによる効率的な隊員投入により、約6時間にわたり広範囲な捜索を行うことができました。

この貴重な経験を活かし、本市にも被害が予想される南海トラフ巨大地震に備え、緊急消防援助隊を受け入れる際、派遣された隊員が不慣れた土地でも効率よく活動できるように体制を構築しておくことが重要であると感じました。

地域を守る 消防団

瀬戸市消防団の歴史は古く、昭和22年に設立されました。平成26年12月1日現在、1団本部12分団で構成され、249人が消防団員として任命されています。

消防団員は、普段はそれぞれの仕事をもちながら、災害時には市消防本部と協力・連携しながら消火活動、人命活動、避難誘導など災害現場の第一線で活動しています。

消防団長あいさつ

◎消防団長 谷崎 和正

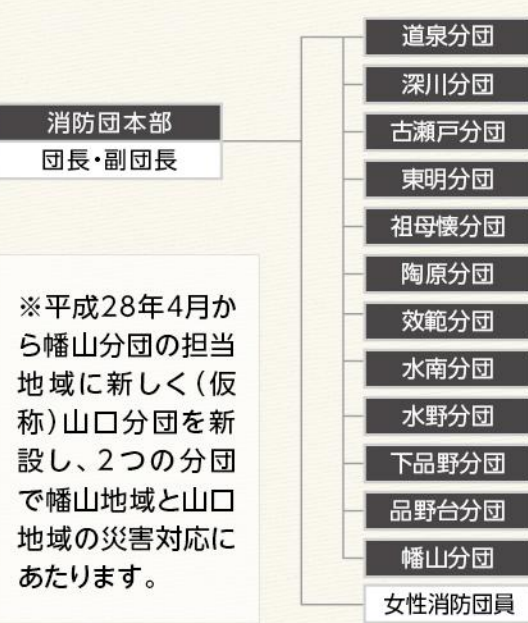
近年、局地的な豪雨や台風、地震などによる災害が各地で頻発しているなか、地域に関わりの深い消防団が、地域防災力の中核として、安全と安心を確保していかなければなりません。

こうした状況下で、消防団員の確保をはじめとする消防団の基盤強化こそが、地域防災力の強化につながると思います。

今後は、消防団員の加入促進や教育訓練を積極的に行うとともに、地域の自主防災活動を担う関係団体と連携協力しながら、地域防災力の更なる向上に努めてまいります。



消防団組織図



消防団の活動



実戦消防操法大会



女性消防団員



赤バイ隊

- ◇火災や風水害などが発生した際の消火・救助活動
- ◇訓練や操法などとおして、災害救助などに必要な技術の習得
- ◇応急手当などの講習指導
- ◇ラッパ隊や赤バイ隊の活動
- ◇自主防災リーダーへの訓練指導など

主な行事



観閲式



消防出初式

4月	辞令交付式
5月	観閲式
8月	愛知県消防操法大会 瀬戸市総合防災訓練
12月	年末火災警戒活動
1月	消防出初式

消防団員募集 あなたの力を消防団で生かしませんか?

☎ 消防課 ☎85・0438



「自分のまちは自分で守る」というボランティア精神のもとに、消防団に入団していただける方をお待ちしています。消防団にご関心をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。

- 資格 市内在住または在勤の18歳以上の方
- 報酬 36,000円～(年額)
- 待遇 報償・活動手当、退職報償制度、市内事業所(ガンバレ消防団応援事業所)の割引制度など

◇くわしくはお問い合わせください。市ホームページ「くらしの情報」→「消防・救急」→「消防団」からもご覧いただけます。

学生の皆さん、消防団活動「団活」をしてみませんか

学生の皆さんの若い力で消防団を活性化し、安全・安心が実感できるまちと一緒に作りませんか。地域の人と触れ合いながら社会を学び、地域防災の大切さを勉強することで人一倍成長することができます。

全国で学生団員が増えています。

消防や防災について学ぶとともにさまざまな経験をしながら、自分の将来に役立てられるよう活動に参加しています。消防団は地域防災の要として位置付けられていることから、地域の安全や安心を確保すべく大きな責任を感じつつ、一つひとつの活動が地域のために役立っていると実感しています。皆さん、一緒に身近にいる大切な方を守りましょう。

学生として「団活」に参加している2人からのメッセージ



杉本 雅敏さん 20歳
(深川分団)



日向 愛理さん 21歳
(女性消防団員)

消防団の活動を通して、消防職員や消防団員の皆さん、また地域の方と関わる機会が増え、学生生活では得られない貴重な経験をさせていただいています。

普段は大学に通い、部活動にも所属しながら消防団の活動を両立していますが、忙しいながらも充実した毎日を送っています。消防団員にしかできない活動もありますので、ぜひ一緒に団活を楽しみましょう。

せと・まるっとミュージアム 平成27年瀬戸市消防出初式

☎ 消防課 ☎85・0439

日時 1/11(日) 午前9時30分～正午

場所 パルティせと、リモージュ広場(駅前)付近

◇くわしくは広報1月1日号でお知らせします。

